

第14回あわらし議会定例会一般質問通告書

平成18年3月1日

(通告順)

1. 牧田 孝男議員

中学校建設問題について (答弁を求める者 理事者)

- ・中学校統合への姿勢表明までの経過について
- ・昨日から既に始まっている地区別説明会は、時間限定のものであり、十分な説明ができるのか、また地区住民の意見を十分聞くことができるのか。
- ・統合への姿勢表明は、教育の観点からなのか、財政上の問題からなのか、あるいはその双方なのか。
- ・統合新築か2校改築かというふたつの選択肢だけでの統合姿勢表明は安易であり、耐震補強を考慮し、財政支出を抑えての2中維持可能な選択肢もあると考えるがどうか。

2. 笹原 幸信議員

各地区要望書に対する対応について (答弁を求める者 理事者)

- ・各地区からの要望件数は膨大であり、要望事項のすべてを実現することは困難と思われるが、市としてどのように対応しているのか。

3. 向山 信博議員

中学校建設問題について (答弁を求める者 理事者)

- ・市民の融合融和を促進するためにも、これまでの経緯をきちんと説明して進めるべきと考えるがどうか。
- ・教育に係る問題を行財政改革の犠牲にしてほしくないと思うが、どう考えるか。

4. 坪田 正武議員

庁舎統合問題・金津庁舎一本化について (答弁を求める者 理事者)

- ・膨大な関係資料備品等をどこに保管するのか。また公用車の駐車場等の土地の確保はどのように考えているのか。毎日の業務を遂行できるスペースを確保できるのか。
- ・新規職員の採用計画はどのように考えているのか。
- ・移転後の芦原庁舎はどのように活用するのか。

- ・旧芦原町民は印鑑証明、住民票申請対して金津庁舎までこなければならぬのか。
- ・一本化に伴い、芦原庁舎にかかっていた経費はどのくらい削減されるのか。

5. 関山 博夫議員

地産地消と食育の推進について (答弁を求める者 理事者)

- ・地域に埋もれている食の名人の発掘を行い、マイスターとして登録し、生産物のブランド化を目指すという考えはないか。
- ・農業と観光を積極的に結合させるための施策をどのように考えているのか。

J R 芦原温泉駅の改善とあわら湯のまち駅の利活用について

(答弁を求める者 理事者)

- ・J R 芦原温泉駅 1 階に風雪に耐えうる待合所を設置できないか。
- ・あわら湯のまち駅に観光客が要望する情報を提供できるインフォメーションセンターを整備する考えはないか。

あわら市観光マップの作成について (答弁を求める者 理事者)

- ・市全域を対象としたビジュアルなあわら市観光マップを作成する考えはないか。

6. 八木 秀雄議員

金津・芦原両庁舎の統合について (答弁を求める者 理事者)

- ・金津・芦原両庁舎統合の進捗状況は。
- ・住民の声をいつ頃聞くのか。

北部丘陵地担い手育成事業について (答弁を求める者 理事者)

- ・「農と文化のあるまちづくり」基本計画、担い手育成事業の主な施策で「幼稚園児、小中学生の食・農・環境学習と農業体験のできる地域ぐるみの学習システムの構築」とあるが、どのような活動を行っているのか。

7. 山口 峰雄議員

公民館活動の強化について (答弁を求める者 理事者)

- ・合併後は、館長や主事を市の職員が兼務している公民館も多く、公民館活動に使用される予算も少なくなり、公民館が十分なサポート機能を果たしていないように思うが、今後の公民館活動の方針は。

8. 穴田 満雄議員

北潟湖の浄化対策について (答弁を求める者 理事者)

- ・北潟湖のヘドロの状態とそのヘドロを除去する取り組みは行っているのか。
- ・外来魚の一種であるブルーギルの生殖状態と駆除方法は。

公有財産の管理について (答弁を求める者 理事者)

- ・公有財産の取得、管理及び処分が適正に行われるための財産台帳の記録管理はどのようにしているのか。
- ・公有財産の旧慣使用となっている財産があるのか否か。
- ・土地保有のうち塩漬け土地の割合と地価下落による含み損はあるのか。

9. 橋本 達也議員

地域防災計画策定について (答弁を求める者 理事者)

- ・未だ地域防災計画が策定されていないのは、危機意識の欠如と思うが、どうか。
- ・今までに防災会議を開催しなかった理由と責任をどう考えるか。
- ・至急、地域防災計画の策定すべきと考えるがどうか。

雲雀ヶ丘寮の特養増床計画について (答弁を求める者 理事者)

- ・特養40床の増床計画についてどのような考えか。
- ・雲雀ヶ丘寮の民営化計画と増床計画は関係があるのか。
- ・40床の増床が保険料増加に及ぼす影響及び地元負担増加に及ぼす影響の金額はいくらか。
- ・広域連合が解体してあわら市が単独で保険者になったと仮定したときの上記の金額はそれぞれいくらになるか。

10. 大下 重一議員

長期財政計画について (答弁を求める者 理事者)

- ・2月28日の全員協議会で示された平成30年度までの長期財政の見通しは想像を越えた大変厳しいものでしたが、市のリーダーとしてどう克服していくつもりなのか、短期、長期に渡る政策の説明を。また、市民への情報公開はどう果たすのか。
- ・この大変不安な長期財政の見通しの中にあっても、中学校建設はなぜ2中の大規模改修を選択肢にいれないのか、最も費用のかからない方法として市民への説明の中に加えるべきであると思うが、どう考えるか。

11. 山川 知一郎議員

中学校建設問題について (答弁を求める者 理事者・教育長)

- ・なぜ、「統合」となったのか、この間の経過と理由について
(教育長)
- ・2校改築と統合の場合の事業費について
(理事者)
- ・当面財政危機を乗り切るためにも、一人一人の子どもに行き届いた教育を願う多くの市民の声に応えるためにも、「統合」ではなく、芦原中改築と金津中改修を直ちに実行すべきと考えるがどうか。
(理事者)

障害者自立支援について (答弁を求める者 理事者)

- ・市内在住障害者の実態は。
- ・障害者サービス事業所の経営状況や充足度は。
- ・サービス利用にかかわる「障害程度区分設定」や「支給決定」、「利用者減免の事務手続き等」の市の対応は。
- ・「地域生活支援事業」の実施計画の内容は。
- ・「障害者福祉計画」の策定状況は。
- ・市独自の負担軽減措置は。

特別職の報酬と退職金について (答弁を求める者 理事者)

- ・福井県市町村職員退職手当組合は、この程特別職の支給率10%引き下げと負担率の引き上げを決めたとのことであるが、これによって当市の特別職の支給額はいくらになるか。また、負担の総額はいくらになり、今までと比較してどれだけ増えるか。
- ・特別職の報酬等を引き下げるべきと考えるがどうか。
- ・退職手当組合議会に自治体議会代表や職員代表も入れるべきと考えるがどうか。

12. 卯目 ひろみ議員

大規模災害時の対応について (答弁を求める者 理事者)

- ・災害時、どのような組織を立ち上げ、どのように対処するのか。
- ・災害時の備蓄品はどんなものがどこにどれだけ準備してあるのか。また、それらのことを住民に対してどのように周知しているのか。
- ・地域住民単位、市内の各小学校単位で、災害時のボランティア組織の立ち上げや防災訓練を平常時から行っていくべきと思うが、どう考えるか。

歩道の除雪について (答弁を求める者 理事者)

- ・児童の通学や住民の通行に支障をきたすことから歩道の除雪も必要と考えるがどうか。

- ・ P T A、地域住民のボランティア参加による歩道の除雪を組織的に行う必要があると考えるがどうか。

13. 海老田 州夫議員

当面の重要課題に対する政治姿勢について（答弁を求める者 理事者）

- ・ 中学校統合問題は市民への説明責任を早く終え早急に着手すべきと考えるがどうか。
- ・ 庁舎統合については固定経費の削減及びその他の効率的波及効果はどうなっているのか。
- ・ 芦原温泉駅周辺整備計画で駐車場及び代替地確保の意味から土地の先行取得をと考えるがどうか。また整備計画には莫大な資金が必要になるが財政計画はどうなっているのか。

介護保険法改正による市の対応について（答弁を求める者 理事者）

- ・ 地域包括支援センター設置に伴う人材の確保及びその運営方法は。
- ・ 介護予防に基づく高齢者対策（老人会などへの支援策）はどのように考えているのか。